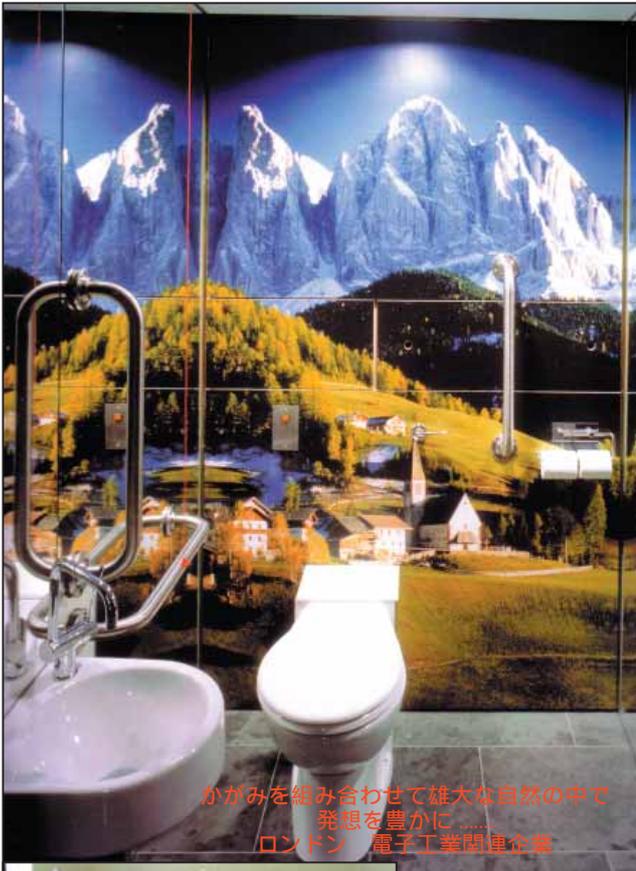




2008年 廁カレンダー

廁うんちくカレンダー VOL.9
小川 義博 作製

トイレも変わる



かがみを組み合わせて雄大な自然の中で
発想を豊かに.....
ロンドン 電子工業関連企業



かがみの仕掛けで白い羽根は永遠に続く、
この雰囲気で気持ちを していただき
京都 宝飾店



金沢 21 世紀美術館の使用可能トイレ
左上にスイスの作家の作品

トイレモリハビリ現場では独りでトイレが出来るよう側面から援助できる雰囲気、機能がもともとられている。このような、役割、イメージアップ、チェンジにはタイル、鏡、ひかりを利用した新たな試みがなされ、新しい癒し、お店のイメージアップ、芸術の表現の場等に期待されてきている。

更に、広告の場として、利用されようとしてつつある。便器も広告媒体として作られたときどのような変貌が生じるか危惧される。



ドイツ アウトパーンの複合商業施設にて
広告を目の前に落ち着いて？

参考文献
designing public toilet PAGEON
TOTO 通信 TOTO
金沢市 21 世紀美術館 撮影 市川鴻之祐

2008年

1 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

東西比較文化



部屋として廁(臨春閣 三溪園)

トイレ、廁の話になるとベルサユー宮殿にはトイレがなかったということが話題になる。これはトイレが無かったのではなく当時はトイレという部屋、建築物というものでなく、家具、容器を排泄に使用していたためである。ベルサユー宮殿にも数は非常に少ないが豪華な壁設置の便座が存在した。日本では部屋、建築物としての廁が設けられていたのに対し、を、ヨーロッパではチャンパー(おまる)そしてチャンパーをセットする家具を排泄に使用していた。



英国貴族の館、寝室の様子 チャンパーをセットした椅子便器が用意されている

これは排泄物をどう捉えるかと言うことに起因しているのではと考えられる。

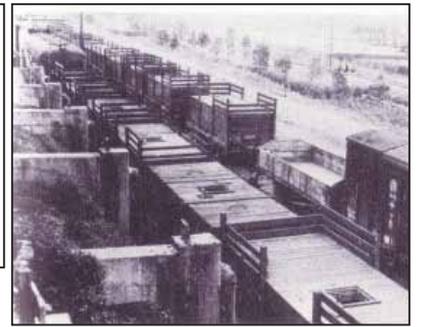
日本において排泄物は農作物の貴重な肥料として金銭的な価値まで持つものとして扱われた。そのため排泄物を溜めておく場と排泄する場の統合し廁が生じたとも考えられる。そして、化学肥料の普及と衛生思想の進歩を



江戸時代 尿尿と農作物交換のため街をいく百姓姿

待つまでに、尿尿運搬の鉄道まで設置された。

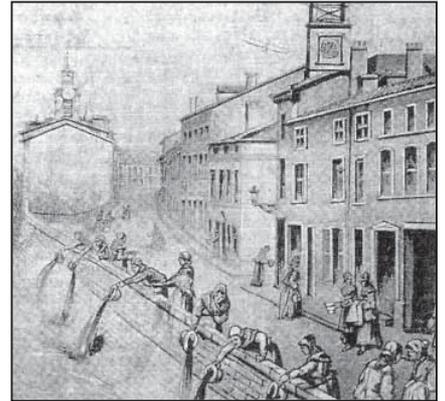
一方、ヨーロッパでは排泄物は汚物として速やかに破棄されるものとして扱われた。チャンパーの内容物は戸外に捨て去ることが朝一番の家事になっていたようである。このため生活環境は劣悪を極め、我が国以上に、下水整備が急務となり下水網の整備と下水処理場の設置が急がれた。また、汚物を移動せる手段として水の利用が必然となり水洗便所の開発が進められた。



終戦直後まで続いたという、西武鉄道の尿尿運搬車による郊外への尿尿の移送



頭上に注意! という声とともに戸外に捨てられるチャンパーの内容物



ヨーロッパの都市の朝の風景画 河岸の住宅から人が繰り出し川は汚物の流れとなった。

参考文献
排泄全書
廁まんだら

原書房
INAX 出版

2008年

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	

豚便所（フール）

戦後の一時期まで沖縄県には豚便所（フール）があった。これは排泄物を豚の飼料として利用する便所である。しっかりした石組みでつくられた構築物であり、その一部は重要文化財に指定されている。人の排泄物は50%近くが未消化部分であり、有効な飼料になるのである。この処理方法は養豚と排泄物処理をセットにし最終的に豚の排泄物を有機肥料とする、今日の世界的課題であるゼロエミッション（地球環境への負荷を限りなく少なくする）にあたる理想的方法であった。

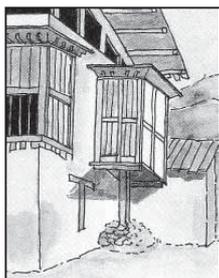
しかし衛生面からは有鉤条虫（サナダムシ）に代表される寄生虫の豚と人間の間での循環という恐ろしい問題が存在し、戦後、米軍の進駐と共に禁止された。

豚便所は中国から伝わったと考えられ、中国の豚便所の歴史は漢代の墓から豚便所の土偶が発見されており、豕の文字が家の字にみられることから古くから存在していたことが考えられている。

フールは中国、韓国、フィリピン、ブータン等、アジア各地に見られる。ブータンの農家では2階のバルコニーに便所があり、木の樋を通して下の豚小屋に流れていく構造になっている。



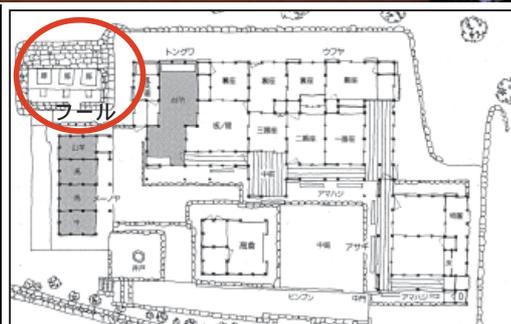
中国・漢時代の副葬品として墳墓に納められた沖縄フールのルーツ



2階にせり出し樋で豚小屋に通じるブータンの農家の廁



1998年発行日本の民家切手に描かれた中村家の外観



上：沖縄県中村家のフールの様子
下：中村家の見取り図

参考文献
日本列島民家入門 INAX 出版
日本トイレ博物館 INAX 出版
早稲田大学会津八一記念館

2008年

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

タイム!

ドアを開け、このフィールドを目に試合開始を普通に決断できる方がいらっしゃるであろうか。何万の視線を意識し、イエローカードを意識しながらことを済ませる。

趣味とはいえここまでこだわる事が出来れば脱帽である。アメリカでは商品として数多くのもが作られているようである。せいぜい無機質の器具の冷たさを和らげる布製カバーであれば理解できるが、将来、このようなものを目にするお部屋が増えてくるかと想像できるか。ロスタイムも考え、じっくりウンチクを傾けていただきたい。



参考文献
幾多のホームページより



2008年

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

取っ手つき容器



上の二つの手持ちのついた容器、すがたは似ているが、目的はまったく異なる容器である。片や人の入口、片や人の出口に関わるものである。下の三つも出口に関わる容器である。名を Chamber-pot (寝室の壺、寝室の友) と呼ばれる 20 世紀中頃まで欧州で日常生活の必需品である。



この pot、日本はもちろんアジアにも見られるものである。



日本 樋箱



韓国 ヨガン



中国 マードン

しかし、Chamber-pot には、入口の器、アジアの器には見られない面白いしゃれたものが出現している。ブラックユーモアにあふれた器たちである。



NO1 JERRY と名づけられている POT
JERRY とは便器の意味



ヒッターが臭い爆撃を待つ
そして 縁には " 汚物をやつにぶっつける ポーランドを陵した報いだ！ "



漫画風の吹き出しには
Oh! dear me.
What do I see? (おいおいナニをみせられるんだ)



Keep me Clean and use me well.
And What I see I will not tell.
(綺麗に使えば、見たものは黙っていてあげるよ)



こんな美しい目で見つめられたら？

参考文献
TEMPLES OF CONVENIENCE St Martin's Press
図説 廁まんだら INAX

2008年

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

古よりお尻は洗ってもらっていた

1980年「お尻だって洗ってほしい」というコマーシャルが流れた。TOTOがお尻洗浄機能付便座と言う商品を発売した時の画期的なキャッチコピーである。四半世紀経ち、ウォシュレットトイレは驚く普及を果たし、外国人の垂涎のものであるという。しかし、このお尻洗浄、古くは5000年前のシュメール王朝時代にまだ緑豊かなメソポタミア地方においてなされていた形跡がある。

紀元前753年に誕生したローマでは水がふんだんに使われ、噴水、浴場などが作られたのと同時に公衆トイレが150ヶ所も造られたという。この公衆トイレ、壁に沿って20-30の石造りの便座が並び、前の溝には水が流れ、その流れは便座の下の流れになっていく。非常に清潔で、社交的なところであった。この便座の前にわざわざあけてある穴がお尻洗浄のためである。(小は水流れる溝の先に専用の場が用意されていたのでご



古代ローマの公衆トイレの遺跡

心配無用)。この穴から海綿を先につけた棒を差しこみやさしく洗浄をし、次の人のために溝で洗っておく。(レタス程度のこの海綿、1960年代早朝のローマ街中でも売られていた。おそらく、ちぎって使用したのであろう)

このような古代ローマも人口の増加で1日40-50トン生じる排泄物を川に流すが下水処理がなく、ある研究の算定では毎年100立方メートルもの糞尿、生活廃水、ごみがティベリウス川に流され、衛生問題に悩まされたであろうという。水に不自由しないイスラムの世界では昔から、小さな器、空き缶に水を用意し、左手で洗浄することが普通に行われてきた。近代設備を誇る施設においてもこの習慣を実行できるように、トイレットペーパー以外に、他の地域では見られない給水設備を設け、器を準備したトイレが造られている。



シリアの街ハマーの小さなドライブインのトイレ。水道のホースを右手に持ち左手で洗う。



トルコ イスタンブール
トルコ航空ファーストクラス用待合室
総大理石 蛇口は鋳物製

参考文献
トイレおもしろ百科
古代ローマ生活史
写真撮影

文藝春秋社
NHK出版
高野 直明

2008年

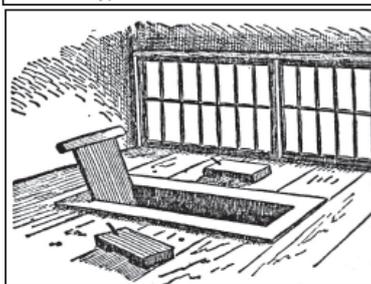
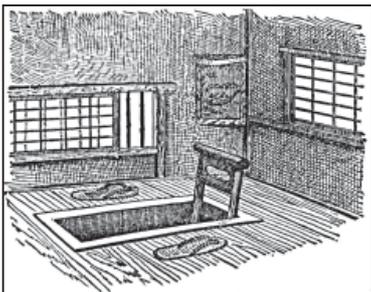
6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

珍なる履き物

日本人は世界にも珍しい歩くに歩けない履物をつくりあげてきた。それは厠下駄と呼ばれる履物である。

日本の住宅は高床式住宅である。住宅に入るときには必ず履物を脱ぐか足を清潔にする上足文化（裸足文化圏）で、他の下足文化（土足文化）とことなり、床は清潔な場であり、万能の家具であった。床に盆をいて食卓に、裁縫道具を置き作業台に、硯と筆と紙を置けば机として、布団を置き寝台の役割を果たす大きな家具であった。江戸時代中期に家の外に存在した厠、下便所が、母屋のはりだした部分の下屋に作られ、徐々に母屋の中に上便所として利用されるようになった。清潔な床に不浄な床（御不浄）が出現したのである。



清潔な床になれた裸足にはこの床は抵抗があった。ここに御不浄用の履物（下駄）が出現する。御不浄用の下駄、草履の出現である。エドワードモースは「日本の住い・内と外」に江戸時代の面影が残る2つのスケッチを残している。

いずれも東京浅草の商家の便所内部である。草履と下駄である。草履には格があり、葦草（藎草）、藁、竹の皮の順であった。下駄もまだこの時期は便器と同じ木製の下駄である。左下の下駄を良く見るとはなおはなく鼻の緒だけが立ちあがって、横緒の穴もない下駄である。歩行をまったく無視した下駄である。

濃尾地震後の住宅復興に伴う大量の便器需要と陶器作製技術の進歩が木製便器を模した角型便器から今も目にする丸い小判型便器が出現するようになると、便器だけでなく御不浄用履物までも陶器製で作られるようになり朝顔型、向高型を問わず小便器とおそろいの染付、青磁等で化粧されたものが出現する。勿論、歩行機能などは期待しなく、小便器の前に置かれ、殿方が足を乗せるだけの厠下駄と呼ばれる。

一方、畳の上でも靴を脱ごうとしない西洋人に対して、畳表、和紙、帆布、ラシャ等で靴のまま履くオパージュシューズとして作られた上草履が生活が西洋化してスリッパとなったものが利用されるようになった。いつまで使い続けられていけるか不安が過ぎる。



上 織部焼 向高小便器と厠下駄 下 染付け厠下駄



参考文献
日本のすまい・内と外
おまるから始まる道具学
世界のタイル博物館
鹿島出版会
平凡社
常滑市

2008年

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

トイレの今と明日



トロイメライ・パッヘルベルのカノン・G線上のアリア(Jazzバージョン)・亡き王女のためのパヴァーヌ・アヴェ・マリア・月の光(Jazzバージョン)癒し音「全2曲・潮騒(木かげのある浜辺)・小川のせせらぎ(せせらぎと鳥のシンフォニー)の癒しが音が足元から流れ



足下のLEDは夜、トイレに行った際、目が覚めないように配慮されている。「野ばら」春の野に咲くばらの甘くやわらかな香り、「古都」晩秋を想わずいにしえの京の香り等を楽しめるものもある。

世界から技術力で注目されている日本のトイレ関連用品が今しを削っているのが快適さと省エネである

快適さは便フタ開閉機能等までの全て自動で事足りるということでは事足りず、明かりの工夫、癒しという観点で季節に合わせた音楽が流れ、季節に合わせたという香りを楽しませてくれることまで用意されている。また、便器も清潔という観点で陶器から新素材へと材質を換え、洗浄水流の観点とあわせて汚れにくく、清潔さが維持しやすいものへ進化している。

省エネは節水、節電の観点で改良がなされている。従来のサイホンジェット方式に比べ65%の節水を可能にし、4人家族2日で浴槽1杯分の節水を実現したという。また半ば電気用品となった便器の節電も便座の保温、温水保持機能の改善等を謳い、節水、節電で年間20,000円の節約になるといふ。

しかし、地球温暖化と水資源の枯渇を考えると、現在のように大量の上水とその使用過程(浄水と下水の浄水)で大量のエネルギーを必要とする現状の水処理方式からの発想の転換が求められている。



環境保護と温暖化対策を考えエコトイレを設けた竹富島の美しい海岸

エコトイレへの発想転換である。それは左図のようにいくつか整理される。竹富島に設置されたトイレは木造の公共トイレで屋根に太陽光発電装置で電力を賄う。2層に分かれた攪拌槽が主要部分であり、攪拌槽の中にホーラ剤(天然間伐材杉チップ)をいれ、微生物の働きで、し尿を水と炭酸ガスへと分解する。その際、生じる水は中水として洗浄に利用される。



また、トイレが一原因で自然遺産の指定を逃したという富士山では乾燥燃焼方式の公衆トイレが設置され、大人2日分の尿尿をフィルムケース半分程度の粉にしている。しかし、人口の集中する大都会において個々の家でこのような方式は不可能であり、真空下水方式を導入し、この方式に合った地域範囲毎でこれらエコトイレの大規模な設備が求められてくる時が近い将来くるであろう。

参考文献
第1回地球環境とトイレシンポジウム
とやま国際トイレシンポジウム96
日本トイレ協会

2008年

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

宇宙飛行士の苦勞

時代の花形である宇宙飛行士には種々の過酷な訓練が待ち受けているが、意外と知られていないのが排泄訓練の存在である。

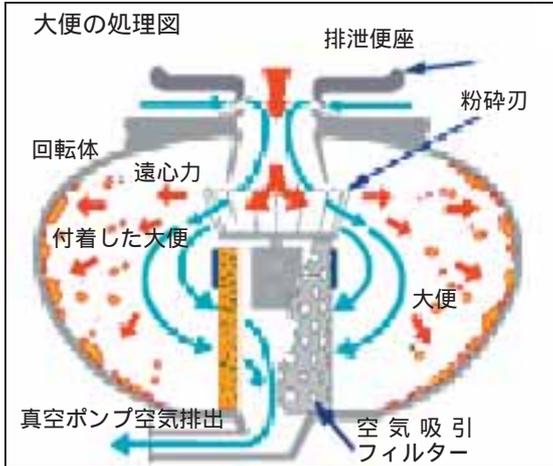
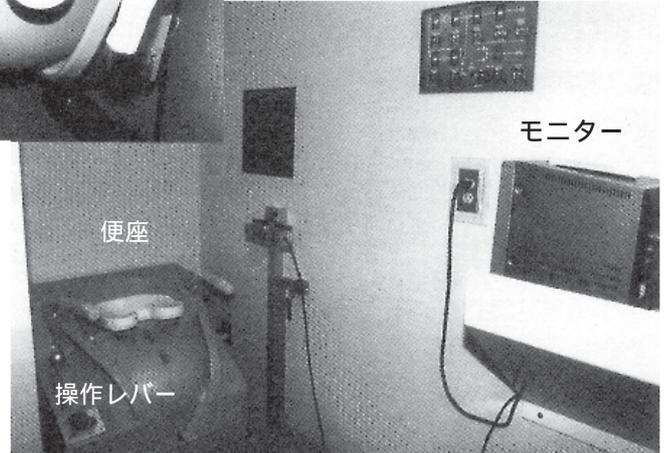
地上における排泄は引力の恩恵を受け、落下し堆積する。引力のない宇宙では何らかの力を利用して排泄を助ける必要がある。さもないと排泄物が身体にまとわりついてしまう。

尿は視覚で確認しながらシャワー様の管を使用してポンプの吸引力を利用して排泄できる。

しかし、便は大変である 10cm ほどの穴に肛門を正確にあわせなければならない。引力のある地上であれば足を踏ん張り腰を浮かして出来るが無重力であると力を入れるところを間違えるととんでもないことになり非常に難しいという。吸引力の調整、排泄物粉碎機能の開始、遠心力による粉碎物吸着のための回転装置操作等の操



作をしなければならない。そこで左、下のようなカメラ付モニター訓練装置で肛門を正確に吸引口に当てる訓練、不安定な姿勢を維持しての機械操作訓練を行う。



左の便座に座り、右のモニターで肛門と吸引口とのドッキングの状況を見ながら機械操作を訓練する。



無重力では身体を固定するハンドルは必需品

参考文献
トイレのなぞ 草土文化
TOTO ホームページ (更新後消去)

2008年

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

空中厠

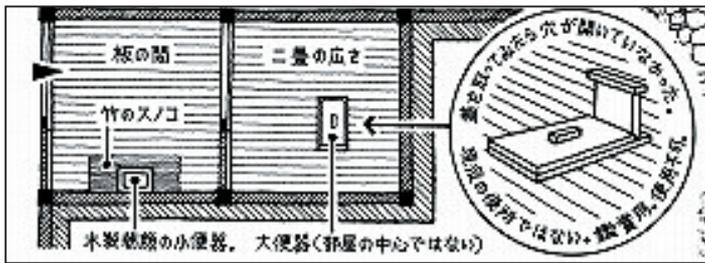
古く、東西を問わず、空間の制限された城郭の中での排泄とその物の処理には頭を痛めたのであろう。同じ発想の厠が見られる。それは城郭の外側に突出した馬を設け、排泄物を城内に留めおかず瞬時に場外に退去させる方法である。空中に浮かんだ厠である。さぞ、風通しのよく、心安らく場であったろう？

日本では熊本城の天守閣につくられている。竹のすのこの床に大小用の木製の便器を持つかなり広い厠であり、城主等、身分の高いものが使用するために作られたと考えざるを得ない。

城を北東から見て大天守を左に、小天守を右にしたその中間にその外観が見られるが一見するだけでは判らない。左の2007年に発行された切手では意図的か、銀杏に隠れるように描かれている。

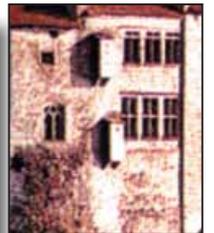


熊本城を描く5枚連刷切手の1枚



空中厠の内部のつくり

一方、こちらはスイス、レマン湖のほとりのかの有名なシオン城、観光船からシオン城を見ると窓のない出窓のようなものが2箇所目に入る。これが、ヨーロッパの城に良く見かけられる空中厠である。ものは湖上に落ち、魚の餌になるという按排。どこも、このように清潔にはいかず多くの城では城壁の周囲は敵でなくとも近寄りたがたい状況になっていたであろう。厠の中はいたってシンプルなベンチに穴を開けたものがあるだけである。



レマン湖・シオン城と中国・瘦西湖を描いた0000年スイス発行の切手シートその一部を拡大すると、厠が描かれているのが分かる。



シオン城の厠内部、腰掛けに穴を開けたような便座。下に光るはレマン湖の湖面



アイルランド・Athenry 城の厠を下から見たもの。現在は地面に板間いがあり、上からの爆撃を回避していたとか。

2008年

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

参考文献
便所のはなし 鹿島出版会
1998年中国とジョイント発行 スイス
2007年熊本城400年祭ふるさと切手
写真提供 池山 真彦

映画のなかに

シェイクスピアの若き日を描いた1998年アカデミー賞作品「恋におちたシェイクスピア」はそのシェイクスピアの恋を「ロミオとジュリエット」



シェイクスピアが演じるロミオ

証にもとづく背景も良く描いている。16世紀末のロンドンの労働者の住宅に十分なトイレはなく、2階の窓からCITY



ロミオとジュリエット 悲劇のシーン

の執筆に絡めて描いた名作である。

その脚本のすばらしさとともに時代考

SHOWERが撒かれることを2つのシーンで映し出している。また、そのような時代の路面の様子も再現している。

下2図はCITY SHOWER



トマスに扮していたヴァイオラが最後に演じるジュリエット



上 路面の様子



2008年

11月

参考文献
環境先進国江戸
SHAKESPEARE IN LOVE

PHP 研究所
Universal

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

唯一の切手

世界で星の数ほど発行されてきた切手。人物、動植物、建物、交通機関等あらゆる物が切手に取り上げられてるなか、排泄行為を描いた切手がおそらく1枚だけであろう存在する。フランスとスペインの国境ピレネー山脈にあるアンドラ公国から1997年にクリスマス切手として発行されたカガネーという人形を描いた切手である。

クリスマスが近づく12月にはいるとバルセロナのカテドラル広場にクリスマス飾り、人形を並べた出店を見ることが出来る。その中に大をしている人形が沢山あらわれる。これを”ウンコをしている人”、カタルーニャ語で「カガネー」(Caganer)つまりウンコタレ人形という。これがこの切手の題材になった



ものである。クリスマスという神聖なときにふさわしくないと考えられますが、この地方ならではの堅苦しい時節に現実的な行為、すなわち現実生活をしっかり見つめるといことを示しているという



説、また自然から得たものはもう一度地面に戻すという意味から豊作を願う気持ちを表しているともいう説、また誰かがとても偉そうに見え、その偉さに負けそうになったら、その人のその人がウンコをしているところを想像して、人間みんな同じと感じることができる人形であるという説もある。

参考文献
たぐさんのふしぎ トイレのおかげ 福音館

2008年

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			